

袋井あやぐも学園保健委員会 報告

令和5年12月

11月14日(火)に袋井西コミュニティセンターにおいて「袋井あやぐも学園保健委員会」を開催しました。

テーマ：「温かい人間関係づくり」



分科会（「つながるシート」を用いて）

親同士が話し合いをする時に使うワークシート「つながるシート」を活用して袋井市社会教育指導員、家庭教育支援員の方々が各分科会に入り、会を進行していただきました。このシートは、子育てや家庭教育について、親の悩みや不安の軽減に「つながる」、話し合いの中で親同士が「つながる」、互いに学び合い、親として育ち合うことで子どもの健やかな成長に「つながる」ことを目的として県教育委員会が作成したものです。

県教委 HP より

【分科会1】
やる気を引き出す魔法の言葉！

トピックス

小学校5年生のハジメくんは算数が大好きでした。4年生の頃は、家庭で勉強をしなくても、テストもほぼ満点。授業でもどどんと発表していました。でも、5年生の「分数の計算」の勉強になって、なんだか様子が変わってきました。

お母さん：「お褒めに算数のテストも返して書いてあるけど？」
ハジメくん：「えっ……。」（もともとがばんの裏からテストを引っ張り出す。）
お母さん：「あらっ、何なの、この結果は。」
ハジメくん：「ちょっと一生懸命勉強しなきゃだめじゃないの。」
ハジメくん：「うんざいなあ。ぼくだって、一生懸命やってるのに……。」
お母さん：「あなたのことか心配で言っているのよ！」
ハジメくん：「……。」

① ハジメくんはお母さんの言葉をどう受け止めたでしょうか。また、どんな言葉に反応したら、ハジメくんのやる気を引き出すことができそうですか。

場 面	ハジメくんの気持ち	言葉
「あらっ、何なの、この結果は。」 「もっと一生懸命勉強しなきゃだめじゃない」		

つながるシート

分科会1 ～やる気を引き出す魔法の言葉！～

<子どものやる気を引き出すために、家庭で実践していること>

- ・(頭をなでながら) ほめる。
- ・おかしなことを言って楽しい雰囲気にしてから、本題に入る。
- ・「だめ」などマイナスな言葉を使わないようにしている。



分科会2 ～子どものほめ方、しかり方～

<子どもに接していくときに気を付けたいこと>

- ・子どもにも一人の人格を持った人間として接する。
- ・目を見てにっこりして話を聞く。
- ・親に余裕がないときに怒ってしまいがちなので、気を付けたい。



分科会3 ～聞いて 聞いて！～

<子どもの話に耳を傾けるときに心がけていること>

- ・子どもの話には手を止めて話を聴くように心がけている。どうしても今やらなければいけないことがあるときは、理由を説明して、後できちんと話を聞くようにしている。



保護者の感想

友野先生の話がとてもよかったです。自分の子育てに不安がありましたが、今日の話がとても参考になりました。この時期に聞くことができてよかったです。

日頃、自分の中でもやもやしていることがテーマでした。今日聞いたことを実践していきたいと思います。

分科会では、学校や子どもの年齢もばらばらだったので、参考になることが多かったです。友野先生の講話を聞いて、改めて、今しかない子どもとの貴重な時間をもっと大切にしたいと感じました。

様々な学年のお子さんを育てているグループだったので、それぞれの「今」を知ることができました。中学生のお母さんの話も聞いて、今後こういうことが待っているんだということも知ることができて良かったです。

友野スクールカウンセラーの講話

まるごとあなたが大切

大切なことは、存在を認めること。



(悪さ、失敗、欠点…全てを含め「あなたが大切」)

→ 周りの人のちょっとした声掛けで、「自分は大切な存在だ」と思える心が育まれます。



こんな褒め方をしましょう！

- ・具体的なことを入れて褒める。(子どもは、それまでの過程も認めてもらうことで、よく見てくれていると感じる)

親子で対立したときは…

- ・その子が選んだものは任せる。(応援する・支える)
- ・「やりなさい！」ではなく、子どもを信じてみましょう。実は本人が一番悩んでいるものです。

日頃、お子さんとスキンシップは取っていますか？一緒に遊ぶこと、泣いていたら頭をなでてあげること、「辛かったね」と言葉にして受け止めてあげること、子どもの話を聞くこと…全てが子どもの安心につながっていきます。日々忙しい中ですが、子どもと向き合い、笑える瞬間がある日常でありたいですね。きっと子どもにとっても、親にとっても、その瞬間がすごく嬉しいはずです。子どもたちのために安心できる居場所を一緒につくっていきましょう！